

2024年度(令和6年度) 新体力テストの結果

児童質問紙(第5学年)

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
男子	75.0	16.7	8.3	0.0
女子	30.8	38.4	15.4	15.4

体育の授業は楽しいですか

	楽しい	やや楽しい	やや楽しくない	楽しくない
男子	58.4	33.3	8.3	0.0
女子	38.5	46.2	15.3	0.0

運動やスポーツをどのくらいしていますか
(体育の授業をのぞく)

	週に3日以上	週に1~2日 くらい	月に1~3日 くらい	しない
男子	58.4	33.3	0.0	8.3
女子	30.8	30.8	38.4	0.0

体力・運動能力(第5学年)

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
男子	14.58	16.54	33.08	42.90	54.45	9.66	152.18	20.16	53.18
女子	14.09	15.46	37.15	40.76	41.53	10.02	140.84	12.23	51.92

県平均値かつ全国平均値未満

重点課題および要因

情意面

・児童質問紙の回答から、運動やスポーツをする楽しさやよさを味わう機会や経験が少ないことが考えられる。
・運動の楽しさや、体を動かした後の爽快感、充実感を感じることができるよう学習活動を工夫する必要がある。

体力面

・「握る」「支える」など、全身の筋肉が備わっているかどうかの指標でもある「握力」に特に課題がある。

重点課題等に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

・授業の導入では、主運動につながる基礎的な運動を取り入れ、苦手な児童にも運動の成果が感じられるように学習カードを活用して視覚化し、運動することへの意欲の向上を図る。
・授業始めに行うサーキット運動の中に、肋木・雲梯・鉄棒・上り棒・どうぶつあるき運動等、握力や体幹を鍛える運動を取り入れる。

体育の授業以外で行う取組内容

・楽しく体幹を鍛えたり、運動したりする機会を確保するために、学級で外遊びを推奨したり、保健体育委員会を中心に全校レクを実施したりする。(かえる倒立大会、大縄跳び大会、ゲーパートレーニング等)
・児童玄関に握力向上コーナーとして、握力強化につながる道具を置くなどし、児童が日常的に取り組める場を設ける。

2025年度(R7年度)の
重点目標値

体幹を鍛えることにより握力の向上を目指し、男女ともに平均値が県平均を超えるようにする。